

広報

あさひまち 4

ASAHI-MACHI

平成13年
(2001年)
月号
NO.533



入学おめでとう ❀ ❀

23名の新一年生を迎え新たなスタートを切った
西五百川小学校



夢と希望に満ちた 新世紀に

3月7日から行われた3月定例町議会で
平成13年度のまちづくりの方針が示され、予算が議決されました。
今月は、清野町長の施政方針と予算の概要をお知らせします。

21世紀の幕が開きました。夢と希望に満ちた新世紀にするために、これまで築き上げてきた文化や産業を継承・発展させ、美しい山河を大切にしながら、他に誇れる「ふるさと」の実現に向けて、平成十三年度のまちづくりに取り組みます。

町民一人ひとりが いきいきと暮らせるまちに

昨年度生まれた子どもの数は六十人。出生数の減少は町の人口減少にも大きくかわり、子どもを産み育てやすい環境づくりが重要な課題となっています。出産祝い金の交付やチャイルドシートの購入補助、第三子以降の保育料の軽減、子育て支援ルームの開設などを行い、子育てを支援します。

四年度から学校完全週休二日制が導入され、学習指導要領が大きく変わります。家庭、社会、学校のバランスのとれた取り組みなど、「地域における教育力の充実」が一層求められるようになります。閉校した立木小学校は、「教育研究所立木研修センター」として、自然体験を中心とした環境教育や宿泊体験、クラブ活動やスポーツ少年団の合宿などができるよう整備します。

福祉分野では、出張美容サービスやふれあい給食サービス、雪下ろしへの助成など町独自の事業を設け、お年寄りや体の不自由な方々が安全で安心した生活が送れる環境づくりに努めます。また、役場内に在宅介護支援の窓口を設け、きめ細やかなサービスを展開していきます。

また、オープン二年目を迎える生涯学習拠点施設のエコミュージアムコアセンター『創造館』では、著名なアーティストや劇団を招き、さまざまなイベントを開催します。香り高い文化を身近で気軽に鑑賞できる取り組みを展開していきます。

生活環境を整え 暮らしやすいまちに

昨年発表された人口動態調査によると、首都圏への人口集中傾向が再び強まり始めています。これは全国共通の問題ですが、

人口の減少、とりわけ若年層が町内にとどまるかどうかは、町勢を大きく左右するとても重要な問題です。人口減少に歯止めをかけるため、これまでグリーンタウン新宿の宅地造成をはじめとする定住対策を行ってきたが、今年度新たに「若者向け町営集合住宅」を建設し、若者の定住を図ります。

また、都市部との若者交流事業では、これまで八組が結婚す

産業の振興を図り 活力あるまちに

果樹を中心とする農業経営は、後継者問題、流通の変革などの課題をかかえています。特に「りんご」産業は、ここ数年低迷が続いています。これまで多くの先人が築き上げてきた朝日町ブランドの再活性化を図るため、今年度は、優良中生品種「あじびか」の栽培マニュアル書の作成や普及推進のための事業、レディースセミナー市場視察などを行う予定です。

また、自然豊かな大地で育った朝日町産の米や野菜は、都市の消費者に好評で、一層力を入れて販売促進を図っていききたいと考えています。

るといふ成果がでており、今後とも継続して取り組んでいきます。生活環境の整備は、合併処理浄化槽による生活排水処理を強力に推進していきます。昨年、合併処理浄化槽整備強化推進五カ年計画」を策定し、従来の補助金に奨励金を上乗せ、融資を受けた場合の利子の補給、排水路の整備など、設置者の負担が軽減なるよう、さまざまな制度を設けました。

商工業については、企業への有利な融資制度や木材製品利用住宅建築奨励補助制度を継続



「関東方面で売れ行き好調な朝日町産の米」

進めます 行政改革による 効率的な行政運営

し、活性化を図ります。また、企業誘致などにも積極的に取り組んでいきます。

歳入の大半を占める地方交付税の減少や、債務残高と公債費負担の増大などにより、町の財政状況はとて厳しくなっています。このような中で、行政水準を維持していくためには、思い切った行財政改革が急務となっています。経常経費の削減からさらに一歩踏み込んだ「行政評価システム」を導入し、各所属ごとの事務事業を抜本的に見直すなど、改革・改善を進めます。

十三億円余の人員費は、予算の四分の一を超え、経常収支比率を悪化させる大きな要因の一つとなっており、思い切った機構改革と人件費の削減が必要です。そのためには、職員の意識改革が最も重要であり、積極果敢にチャレンジする職員づくりを進めます。

★ 少子高齢化の進行や産業の振興、生活環境の整備、地方分権の進展など町がかかえる課題は山積みですが、昨年策定した「第四次総合発展計画」にもとづき、



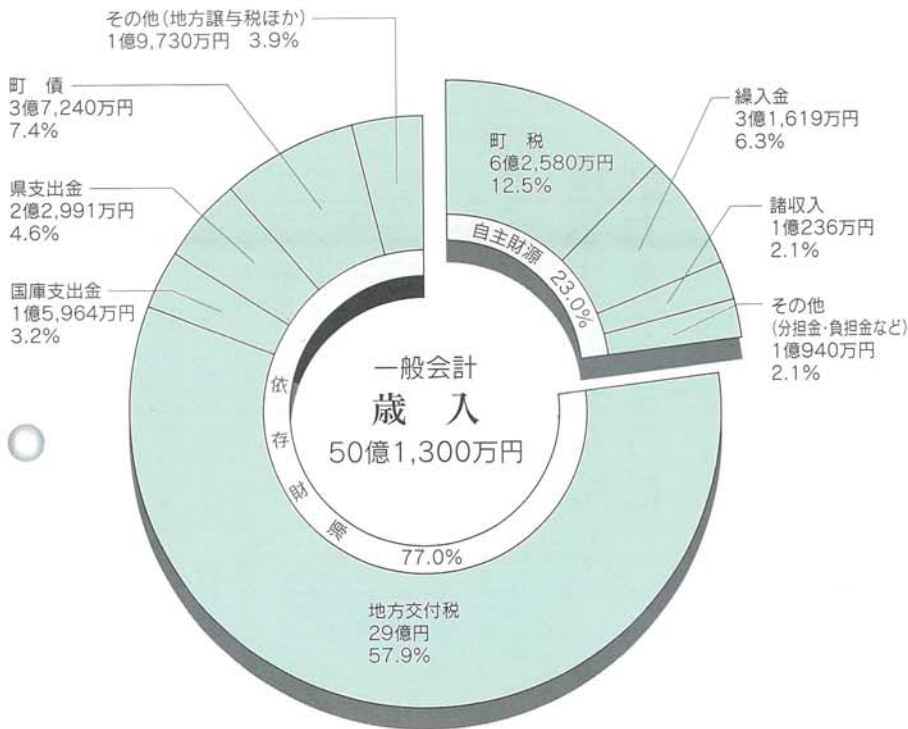
住民サービスの向上をめざして

美しい自然と共生する、住んでよかったと思える町の具現化に向け、全力を傾けて諸施策を推進していきます。

これまでと同様に、月一回の「町長と語る日」を設けるなど町政に対するご意見やご提案を積極的にとり入れ、まちづくりを活かしていきますので、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

一般会計当初予算

50億1,300万円



今年度の一般会計当初予算総額は、五十億一千三百万円。昨年度に比べると四・七％、二億一千四百万円の伸びとなっています。

主な事業は、若者向け町営集合住宅の建設や合併処理浄化槽設置推進事業、町営バスの購入、大暮山公民館の建設などで、昨年度と同様、財政健全化に向けた緊縮型の予算編成となりました。

土木費 43,507円	衛生費 62,084円	総務費 63,822円	一般会計 町民一人あたりで みると 531,207円
消防費 25,427円	農林水産業費 38,126円	民生費 77,718円	

(平成13年4月1日の人口9,437人で算出)

町税の内訳

町民税	2億1,200万円
・個人	1億7,800万円
・法人	3,400万円
固定資産税	3億5,250万円
軽自動車税	1,700万円
町たばこ税	4,200万円
入湯税	230万円
合計	6億2,580万円

なにか、なにか

財政用語入門

一般会計 町の行政運営の基本的な経費の歳入・歳出を表す会計

当初予算 年度当初に示される予算のこと。年度開始前に編成され、議会の議決を経て成立する。(補正予算は年度の途中で補正される予算のこと)

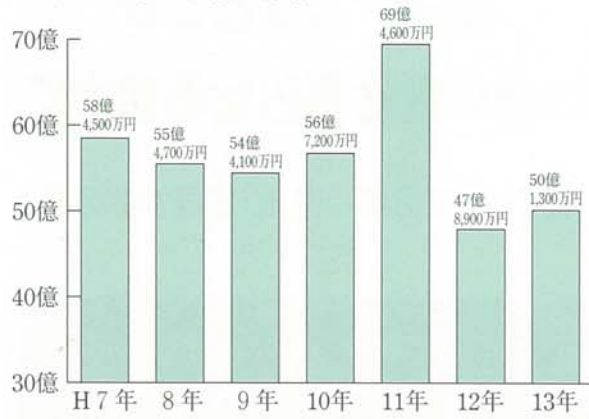
特別会計 特定の仕事について歳入・歳出を一般会計と分けて経理する場合に、法律や条例によって設置される会計。

企業会計 地方公営企業の会計で、独立採算が原則。歳入・歳出はもちろん、資産や負債についても明確にし、経営成績と財政状況を明らかにしなければならない会計。

収益的収支 一事業年度の企業の経営活動にともない発生が予定されるすべての収益と、それに対応するすべての費用

資本的支出 企業の将来の経営活動に備えて行う、建設改良に

■一般会計当初予算の推移

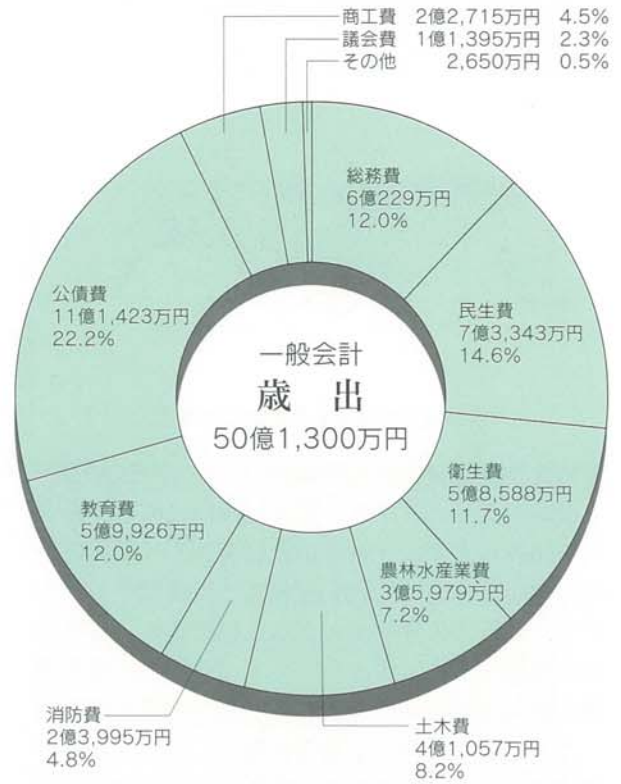


■特別会計・企業会計当初予算

会計名		予算額
特別会計	集落排水事業	1,740万円
	国民健康保険事業	8億8,200万円
	老人保健事業	11億6,630万円
	介護保険事業	5億6,770万円
	住宅団地造成事業	3,590万円
企業会計	病院事業	収益的収支 9億8,760万円
		資本的支出 4,590万円
	水道事業	収益的収支 1億8,660万円
		資本的支出 5,340万円



平成13年度



●商工費

24,070円

●教育費

63,501円

●その他

2,807円

●議会費

12,075円

●公債費

118,070円

ともなう費用

町税 町民のみなさんが町に納める税金

繰入金 特別会計や基金などから一般会計に繰り入れるお金

諸収入 預金利子や雑収入など

分担金・負担金 道路整備などもなう受益者負担金などのように特定の利益を受けた方から負担していただくお金

地方交付税 所得税など国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金

国庫支出金・県支出金 特定の事務や事業の財源として国や県から交付されるお金

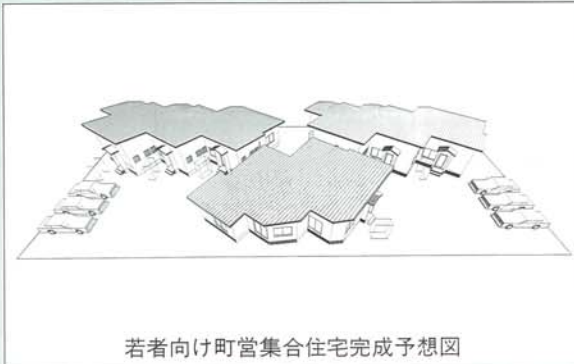
町債 大きな事業を行うために国や県、金融機関などから借り入れるお金

地方譲与税 自動車重量税や地方道路譲与税など国が徴収した税金から配分されるお金

公債費 過去に借り入れた債務の支払いにあてるお金

生活環境を整え 暮らしやすいまちに

(生活環境分野)



●特定公共賃貸住宅整備事業 ……7,500万円
緑町のグリーントウン新宿区画内に町営集合住宅を建設します。8世帯が入居可能で、若夫婦や独身者など、若い世代を対象にした賃貸アパートです。8月末の完成をめざし工事を進め、若者の定住促進を図ります。 担当/建設課

●合併処理浄化槽設置推進事業 ……1億260万円
合併処理浄化槽の設置を推進し、美しく快適な環境づくりを進めます。補助金9,560万円、奨励金905万円、排水路整備費350万円を計上したほか、切替補助金、放流ポンプ槽設置補助、貸付利子補給なども予算化しました。 担当/建設課

●宮宿左沢間路線バス利用拡大事業 ……300万円
高校生や専門学校生の通学費用の軽減と山交バス利用拡大のための助成を行います。 担当/町民課

●その他の主な事業

- ・町道整備事業
(松原、大谷南線など) ……1億461万円
- ・町道舗装事業
(粧坂、四ノ沢中央、赤釜線など) 1,200万円
- ・区道整備補助事業 ……450万円
- ・8トン級除雪ドーザ購入事業 ……2,000万円
- ・町営バス購入事業 ……1,500万円
- ・昼間タクシー運行委託事業 ……120万円
- ・チャイルドシート購入補助事業 ……35万円
- ・防火水槽整備事業
(大谷二、大暮山、長沼) ……1,290万円
- ・子ども会資源ごみ回収助成事業 ……320万円
- ・国土利用計画策定事業 ……112万円
- ・簡易水道整備事業(白倉) ……300万円

町民一人ひとりが いきいきと暮らせるまちに

(健康・福祉分野、文化・生涯学習分野)



●乳児医療給付事業 ……634万円
給付対象となる子どもの年齢を今年7月から就学前までに大幅に拡大し、子育てを支援します。 担当/健康福祉課

●第3子以降出産祝金事業 ……140万円
交付条例の適用期限を平成17年3月31日まで延長し、産みやすい、育てやすい環境づくりに取り組みます。 担当/企画課

●いきいきデイサービス事業 ……120万円
お年寄りがいきいきと暮らせるまちをめざし、自治公民館などを拠点に自主的に活動しているボランティア団体を支援します。 担当/健康福祉課

●創遊館ホール事業 ……1,100万円
今年6月にオープン1周年を迎える創遊館。『今井倭子オペラリサイタル』(6月)、『渡辺美佐子一人芝居』、『胡弓演奏会』(7月)、『県トップアーティストコンサート』(8月)など多彩なイベントを企画しています。 担当/生涯学習課

●教育研究所研修センター費 ……184万円
閉校した立木小学校は、町教育研究所立木研修センターとして利活用します。スポーツ少年団の合宿や子ども会行事、各種研修などに広く利用できるよう整備します。 担当/管理課

●その他の主な事業

- ・重度心身障害(児)者医療給付事業 ……2,802万円
- ・在宅介護支援センター運営事業 ……480万円
- ・ホームヘルパー委託事業 ……700万円
- ・老人家庭除雪助成事業 ……70万円
- ・小中学校遠距離通学事業 ……2,943万円
- ・英語指導助手招致事業 ……545万円
- ・自治公民館整備事業(大暮山) ……3,550万円
- ・若者交流事業 ……200万円

産業の振興を図り、 活力のあるまちに

(産業・経済分野、地域・自治分野)



- りんご銘柄産地確立事業 ……………100万円
- 高品質りんご生産緊急対策事業 ……144万円
優良中生種『あじびか』の栽培マニュアル書作成や穂木の補助、新品種の調査など日本一のりんごの産地めざして取り組みます。担当/農林課
- 木材製品利用住宅建築奨励補助事業 500万円
町内業者による木造住宅の建築、または町内業者より木材製品を購入に対して補助金を交付し、町商工業の活性化を図ります。担当/商工観光課
- 情報通信技術（IT）講習事業 ……721万円
昨年度に引き続き、町民のみなさんを対象にしたパソコン講習会を開催します。担当/生涯学習課
- コミュニティ助成事業 ……………250万円
すもうの化粧まわし、マーチングバンドの衣装と楽器を整備するため、西部地区子ども会に助成します。担当/企画課
- 行政事務事業評価システム策定事業 …74万円
厳しい財政状況の中、行政事務の効率化を図り、より一層の住民サービスの向上をめざし、行政事務事業評価システムの導入を図ります。担当/企画課
- その他の主な事業
 - ・新品種・新技術導入事業
(りんご減農薬栽培補助) ……………102万円
 - ・家畜排泄物適正処理緊急対策事業
(大谷地区に処理場整備) ……………900万円
 - ・中山間地域農村活性化総合整備事業
(西部公民館周辺整備ほか) ……1,866万円
 - ・中山間地域等直接支払事業 ……………3,500万円
 - ・椹平棚田保全事業 ……………82万円
 - ・各種イベント ……………180万円
 - ・商工業地域総合整備資金貸付事業 …3,500万円

子育てしやすい 環境づくりを

中沢 鈴木

正弘さん
清美さん



五月に二人目の子どもが生まれる予定で、このたび出産祝い金制度が五年間延長されたと聞いて喜んでいきます。何かとお金がかかるので、町からの助成は、とてもありがたいことです。

チャイルドシートの購入補助や第三子からの保育料軽減制度もあるようですが、保育園の時間延長やすべての保育園で一・二歳児を受け入れるなど、さらに子育てしやすい環境づくりを進めてほしいですね。

定住対策 事業に期待

沼向

佐藤 松一さん
美千代さん



家を新築することになり合併処理浄化槽設置補助金と奨励金の申請を済ませました。新築にはたくさんのお金がかかり、このような町からの助成はうれしい限りです。

私たちが町の課題として一感しているのは人口の減少です。町内に家を新築する人が増えるような思い切った取り組みや企業誘致など、定住対策事業を積極的に進めてもらいたいですね。

予算書Ⅱ町の大事な計画書

町が行うさまざまな事業は、四月から翌年の三月までの計画で行われます。事業を進めるにあたってはもちろんお金が必要です。

「今年度はどのような事業をして、それを行うためにどのくらいのお金が必要なのか」「必要なお金をどのようにして工面するか」といった計画を表したのが予算書です。予算書はまちづくりの大事な計画書です。みなさんも一度目を通してみてはいかがでしょうか。



▼問合せ 総務課財政係 (☎67-2122)

水道事業所

所長(兼) 若月 淳一
 所長補佐 清野 正幸

業務係 鈴木 清

係長(兼) 清野 正幸
 技術士 今井 一成

工務係 鈴木 清
 主任 長岡 勉

町立病院

院長(内科) 小林 達

副院長(内科) 井上 隆

副院長(外科) 大塚 聡

医長(整形外科) 高橋 徹

事務長 阿部 浩

総婦長 粕谷 純子

外来

婦長 佐藤久美子

主任 児珠はつえ

看護婦 大江 一子

看護婦 大竹 由理

病棟

准看護婦 阿部佐千子

松田タツ子

長岡ひとみ

婦長 長岡 浩子

主任 安藤由紀子

看護婦 今井 裕美

鈴木 幸代

鈴木 正子

白川由美香

鈴木美保子

瀬尾美智子

佐竹 愛

渡辺 梓

布施 智子

菊池小夜子

長岡 千恵

佐藤マサ子

今井さち子

鈴木 弘子

鈴木恵美子

佐藤みどり

渡辺 妙子

医事係 係長(兼) 松尾 正二

課長 鈴木 正則

主幹 長岡 信悦

課長補佐 最上俊一郎

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

熊谷 貞則

調理師 和田みよし

大沼分校 用務員兼調理師 白田 幸子

朝日中学校 用務員 松田 篤子

渡辺 忍

宮本 建一

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

長岡 茂

庶務係 係長(兼) 豊嶋 茂憲

主任 池田さち子

局長(兼) 池田 伸一

局長補佐(兼) 幸雄

農地調整係 花山 護

主任 高取 照子

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

局長 鈴木 千良

新規採用者

生涯学習課 主任 佐久間 淳

税務課 主任 長岡 昭博

健康福祉課 主任 木村 朋恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

町立病院 看護婦 長岡 千恵

お待たせしません！ご利用ください

各課直通電話番号一覧



- 総務課.....☎67-2111
- 企画課.....☎67-2112
- 商工観光課.....☎67-2113
- 農林課.....☎67-2114
- 収入役室.....☎67-3301
- 税務課.....☎67-2107
- 町民課.....☎67-2119
- 健康福祉課.....☎67-2116
- 建設課.....☎67-2115
- 水道事業所.....☎67-3570

- 町立病院.....☎67-2125
- 管理課.....☎67-3302
- 生涯学習課.....☎67-2118
- 議会事務局.....☎67-3306
- 農業委員会.....☎67-3307
- 社会福祉協議会.....☎67-2465

- さゆり保育園.....☎67-3467
- ふたば保育園.....☎67-2268
- わかば保育園.....☎68-2123
- 西部公民館.....☎67-2208
- 北部公民館.....☎68-2111
- 農業研究所.....☎67-2890

三月定例町議会

議 会

三月定例町議会が三月七日から九日間の日程で開会され、助役、収入役選任の人事案件や補正予算、町職員の再任用に関する条例の設定、出産祝金交付を平成十六年度まで延長する条例の改正、合併処理浄化槽排水路整備事業受益者分担金条例の設定、町議会議員定数検討特別委員会の設置など二十七議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

町政報告

▼総務課

開発センター一階に『社会福祉協議会』と『シルバー人材センター』、二階に『訪問介護ステーション』が昨年末に移転しました。



社会福祉協議会は開発センター一階に移転

▼企画課

平成十三年度に予定していた八ツ沼地区コミュニティ広場整備事業が、平成十二年度事業として追加決定されました。

平成十二年度の県市町村広報コンクールが行われ「広報あさひまち」十二月号が入選第一席に選ばれました。

▼町民課

四月一日より特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)が施行されます。エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の四品目の廃家電は、製造メーカーでの



リサイクルが義務づけられ、購入した電気店に依頼し回収処理されますので、寒河江地区クリンセンターでは回収できません。

▼健康福祉課

介護保険は、四月から十二月までに、延べ五百四人の要介護認定申請があり、うち四百五十人(実人数三百二十九人)が要介護認定されました。

▼税務課

県民税の収納状況が優秀と認められ、このたび県知事表彰を受賞しました。

▼商工観光課

木材製品利用住宅建築奨励助成金制度は、二月末現在で二十七件の申請があり、うち十六件に助成金を交付しました。

▼農林課

大雪に伴う農林関係の被害状況は、ぶどう棚や園芸ハウスの倒壊、果樹の枝折れなど二月二十日現在で約二億円の被害額となっております。

中山間地域等直接支払い事業は、三十七地区の一四五・五ha(田一二五・六ha・畑一九・九ha)で集落協定が締結され、約二千三百万円の交付金が交付される予定です。

町土地改良区と松程新堰土地改良区の合併については、一月十八日に予備調印を行い、七月一日合併の予定で手続きが進められています。

▼建設課

大谷下高野線の道路改良事業は、工事の一部を平成十三年度に繰り越して完成させます。

栗木沢団地線、栗木沢住宅団地造成工事が完了し、現在確定測量結果に基づく登記の申請と分譲予約を取りまとめています。

▼町立病院



完成した医師住宅

医師住宅は、二月上旬に完成しました。

一月末日までの利用患者数は、入院一万二百八十五人、外来、四万三千三百七人となっており、昨年同期と比較して入院が約千人の減、外来が約三千五百人の増となっています。

▼水道事業所

平成十二年度の決算は、給水量の減により昨年度よりも収入が減る見込みです。

▼管理課

小学校施設再編整備計画の推進状況について、一月に第二回目の教育懇談会を開催し、宮宿、上郷、送橋、水本の各小学校長、PTA会長との話し合いを行いました。また、二月に宮宿小学校学区の区長、校長、PTA会長との会議を開き、宮宿小学校施設整備計画、学区再編整備計画について経過説明を行い、今後の課題を話し合いました。

▼生涯学習課

エコミュージアムコアセンター『創造館』の利用状況は、各種イベント、視察、研修などを含め約三万六千人が訪れています。特にホールの利用は、百四十三件の事業を開催し、約一万六千五百人が利用しました。

『創造館』の運営の一部をNPO法人に委託していますが、全国から視察者などが相次ぎ、入館者は六千人を超えました。

図書館は、六月から二月までの九カ月間で約一万七千冊の利用があり、今後は各学校や関連する施設とのネットワーク化に向けて研究していきたいと考えています。



新たな行政区『緑町』が誕生

平成10年度から分譲を行ってきたグリーントウン新宿（区画数53）が、新しい行政区『緑町』としてスタートしました。新しい区の誕生は、昭和48年の西原区、52年の平区以来です。

緑町の宅地は、これまで46区画が分譲済みで、そのうち16世帯がすでに入居しています。

これまで、他区の規約などを参考にしながら4月1日の発足に向けて準備が進められ、去る3月31日の総会で、区規約の承認や渡辺秀雄区長をはじめとする役員が選出されました。

同区には、今年度中に若者向け町営住宅（8世帯分）の建設や、関東方面からの転入者が予定されるなど、年々入居者が増えるものと見込まれています。



阿部晃士収入役



白井淑浩助役

白井助役、阿部収入役が再任

平成13年3月31日で任期満了となる助役並びに収入役の人事案が、3月定例町議会において同意され、助役に白井淑浩氏（大谷六・58歳）、収入役に阿部晃士氏（夏草・60歳）が再任されました。

白井助役は「行財政改革推進本部長として、組織機構の見直し、職員定数の削減、行政評価システムの導入などを積極的に行い、清野町長の補佐役としてがんばってまいります」。阿部収入役は「厳しい財政状況のもと、限られた財源をまちづくりのために、いかに有効に支出するかが重要です。職員一人ひとりが効率よく仕事をするのが大切で、私自身もそのような気持ちで職務にあたってまいります」と、2期目の抱負を述べています。

スポーツで輝く あなたを応援します

朝日町スポーツ振興基金

朝日町スポーツ振興基金につきましては、昭和63年度から5カ年間にわたって町民の皆様方にご寄付をいただきました。

平成12年度は、基金運用益金（資本金3,400万円）153万3千円で基金運用させていただきました。

前年度と比較すると、全国や東北大会に出場した団体や個人が増えたことにもなる激励金の大幅な増加が特徴となっています。競技力の向上が確実

に図られてきているものと関係者一同心から喜んでいるところです。

主な活用は次のとおりですが、平成13年度は競技スポーツ選手の育成強化およびスポーツ指導者の育成などで基金の運用を図っていきます。

なお、全国並びに東北大会出場激励金については、大会出場が決定次第、すみやかに町教育委員会生涯学習課体育振興係（☎67-2118）までお知らせください。出場者本人の申し出が困難

な場合は、関係者や関係団体のご協力をよろしくお願いいたします。

これまで活用された主な事業

- 町体育協会事業補助金……………30万円
- 全国・東北大会出場激励金
（1団体24個人）……………40万円
- 地区レクリエーション大会等報償金
（34集落）……………35万5千円
- 町民駅伝競走大会出場報償金
（14チーム）……………35万円





明治8年6月、光源寺を借り受け開校する。

写真は、昭和30年代前半に撮影されたものと思われる。



昭和35年の児童数は246名。この時期を境に児童数が減少し始める。写真は昭和58年ころのもの。



平成13年3月25日、閉校記念式典が盛大に行われ、125年の長い歴史に幕を閉じた。

◆教育功労者表彰
長岡雄一氏（ヤマメの飼育指導）
安藤竜二氏（みつばちの飼育指導）

最後に、ヤマメの放流と閉校記念碑の除幕式が行われ、地域とともに刻んだ百二十五年の長い歴史に幕を閉じました。

で別れを告げました。最後に、ヤマメの放流と閉校記念碑の除幕式が行われ、地域とともに刻んだ百二十五年の長い歴史に幕を閉じました。

立木小学校の閉校記念式典が三月二十五日、同校体育館で開催され、在校生や教職員、地区民など約百八十人が参加し、学び舎との別れを惜しみました。

はじめに、黄木定校長が「豊かな自然の中で、体全体を使って学んだことは、将来必ずみなさんの役に立つことでしょう。閉校はとても残念ですが、数々の思い出を胸に、それぞれ活躍してください」と五人の児童に励ましの言葉を贈りました。子どもたちは、川遊びや餅つきなど楽しかった学校生活の思い出を歌や劇で披露。この学校で学んだことを忘れずにがんばります。地域の方々、先生方、先輩方ありがとうございます。立木小学校ありがとうございます。さようなら」と大きな声で別れを告げました。

地域とともに刻んだ 百二十五年の歴史に幕

立木小学校閉校記念式典





朝日川の石を使って作られた閉校記念碑。「立木小学校思い出の碑」と清野町長直筆の文字が刻まれている。



ヤマメの飼育などに取り組んできた立木小は、環境教育の推進校として、これまで多くの全国表彰を受賞。大切に育ててきた最後の稚魚約1000匹を朝日川へ放流。



万感胸に校歌を斉唱する同窓生たち。目には涙が…。



最後の在校生となった5人(左から大井潔くん、古川まどかさん、佐竹翼くん、阿部岳志くん、阿部洋介くん)。この春、潔くんと翼くんは中学校へ。岳志くん、洋介くん、まどかさんは、新入生3人とともに西五百川小へ通う。



3月19日、最後の卒業式が行われた。

まちの話題

① 川舟づくり



水ぬるむ季節 川舟づくり進行中

阿部工務店(夏草)の作業場では、川舟づくりが行われています。この道40年の大ベテラン安藤正一さん(杉山)が、慣れた手つきで軽快にカンナを削

っています。

川舟は「舟クギ」と呼ばれる専用のクギを用い、板の継ぎ目には水がもれないように檜木の皮が使われます。設計図は安藤さんの頭の中にあるそうで、「舟底のカーブが一番難しい。長年の勘だけが頼り」とか。

以前は、住民の貴重な足として欠か

せないものでしたが、最近ではあまり見かけなくなりました。「昔は大勢の舟大工がいましたが、今の時代で作れるのは、町内ではおそらく安藤さんだけでしょね」と語る阿部正典社長。

完成品は、依頼者の吉田芳美さん(西船渡)のもとに届けられ、最上川での投網漁に使われるそうです。

③ 町内小・中学校卒業式



巣立ちの春

3月16日に朝日中学校、19日に町内小学校の卒業式が行われました。

卒業を迎えた117人の中学生と107人の小学生は、先生や在校生から激励を受け、卒業証書を手思い出いっぱい

の学び舎を巣立っていきました。

なお、新年度の中学校入学生は106人(水本小の卒業児童1人は山辺町)。

小学校入学生は82人(西五百川小23人、宮宿17人、上郷小6人、送橋小0人、水本小0人、和合小13人、大谷小23人)となっています。

② 農林水産大臣表彰

統計調査に尽力

このたび、「平成12年度県統計功労者表彰式」が山形市で行われ、助ノ巻の布施正さんが農林水産大臣表彰並びに県知事表彰を受賞されました。

布施さんは、昭和48年から平成12年まで統計調査員をつとめられ、国勢調査や農業サンセスなど計57回の調査を担当。正確で迅速な調査業務や統計思想の普及に対する功績が認められ、今回の受賞となりました。





すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	性別	保護者名
四ノ沢	渡辺 紫苑	男	章 平
松 程	佐竹 里緒	女	政 昭
元 町	清野 里歩	女	浩 之
大 町	岡崎 陽果	女	文 彦
宇津野	佐竹 結衣	女	勝 久
沼 向	菅井 佳苗	女	善 雄
栄 町	鈴木 俊介	男	弘 二
栄 町	高橋 さくら	女	徹



おしあわせに

(婚姻届)

土 屋 智	♥	長 島 和 美
(水本)		(最上町)
村 山 友 則	♥	畠 山 美 和 子
(栄町)		(米沢市)
佐 藤 幸 夫	♥	松 本 華 織
(緑町)		(尾花沢市)
藤 田 康 徳	♥	杉 浦 道 代
(大谷五)		(宮城県)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
立 木	松 田 良 市	みつ子
大 町	成 原 い さ	本 人
杉 山	安 藤 泰 一	稔
四ノ沢	今 野 正 光	本 人
大暮山	阿 部 な み	健一郎
大谷二	白 田 彌次郎	義 徳
常 盤	大 井 せ い	宏
助ノ巻	布 施 ミチエ	政 身
四ノ沢	長 岡 仙太郎	本 人
四ノ沢	武 田 つるの	本 人
真 中	遠 藤 と み	作兵衛
新 宿	熊 谷 みつよ	とみ子
大谷一	白 田 み つ	榮 一

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成13年3月31日現在

人 口	9,437人(減 70人)
男	4,690人(減 40人)
女	4,747人(減 30人)
世帯数	2,578戸(減 4戸)
	() 内前月比

4 体育協会表彰式



平成12年度朝日町体育協会表彰式

スポーツの分野で活躍した方々をたたえる朝日町体育協会表彰式が3月22日に創遊館で行われました。

平成12年度は3団体18個人が受賞されました。(順不同)

【奨励賞】

小林 卓さん(大 沼/剣道)

【殊勲賞】

朝日中学校男子剣道部

菅井源三郎さん(小 原/バドミントン)

大井 次郎さん(本 町/剣道)

菅井 充さん(小 原/バスケット)

白田 望さん(大谷六/剣道)

保利有希子さん(大谷六/水泳)

鈴木 聡さん(本 町/剣道)

白田 憲彦さん(大谷三/剣道)

桜井 豊さん(大谷五/陸上)

堀 弘樹さん(栗木沢/剣道)

小林 陽介さん(大 沼/剣道)

堀 沙織さん(大暮山/柔道)

清野友理子さん(送 橋/卓球)

【優秀賞】

送橋剣道スポーツ少年団

大谷ジュニア剣道スポーツ少年団

鈴木 香菜さん(大 町/陸上)

清野紗由美さん(送 橋/卓球)

【功労賞】

鈴木 藤七さん(西 町/卓球)

五十嵐澄雄さん(中 沢/バドミントン)

【感謝状】

小野 由美さん(大谷六/エアロビクス)

5 各種大会成績

町民バスケットボール(3 on 3)大会

〈3月11日 大谷小体育館〉

1位 ラーヒールズ

2位 パイナップルボンバーズ

3位 A

町民インディアカ大会

〈3月18日 町民体育館〉

1位 A I K-B

2位 大ナマイトパディーズ

3位 ラッキーシューチャン

町民バドミントンフェスティバル

〈3月25日 町民体育館〉

◆団体戦Aブロック

1位 チェリーズ

2位 ミルフィーユ

3位 トンコレラIV

◆団体戦Bブロック

1位 ダウンタウン

2位 バーディーズ

3位 職労

◆オープンダブルス

1位 佐藤 義明、佐藤 薫

2位 大沼 広男、後藤 昭子

3位 鈴木 尚子、石塚留美子

〃 鈴木 政利、石塚 芳幸

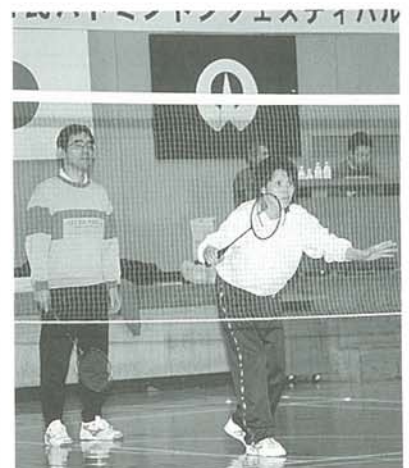
◆レディースダブルス

1位 木村 弘子、佐藤 弘子

2位 稲村 瞳、柴田むつき

3位 柴田 弘美、佐藤智賀子

〃 佐藤 静、日詰 美穂





豊龍まつり

撮影／安藤堅一さん（寒河江市）

毎年五月二日に開催される豊龍まつり。小学生から大人まで数百人が参加し、盛大に行われます。
獅子、お囃子、子どもみこしの集団が宮宿地内を練り歩き、五穀豊穡と地域の繁栄と安泰を祈ります。地域が一体となって取り組む伝統あるお祭りです。

情報ボックス

春季消防演習

期日 4月22日（日）
時間 午後1時〜
場所 朝日中グラウンド
宮宿商店街大通り
内容 隊列・操法・放水訓練、
消防団員・幼年消防ク
ラブの行進ほか

問合せ 町民課防災係

（☎ 67-2119）

朝日町成人式

期日 4月29日（日）
時間 午前10時〜
場所 創造館ホール
内容 式典、祝賀会ほか
対象者 昭和55年4月2日から
昭和56年4月1日生ま
れの方

問合せ 生涯学習課社会教育係

（☎ 67-2118）



▼「春よ、遠き春よ、」この松任谷由実の歌「春よこい」に、共感した冬だった。くる日もくる日も、雪かきにおわれ、容赦なく降り続く雪を恨めしく思った。

▼「長く厳しい冬があるから、春の良さ楽しさが実感できるのだ」と言われても、本当に今年の大雪にはうんざりさせられた。
▼地方分権の推進にともない、

冬 秋 夏 春

編集後記

県は総合支庁をスタートさせた。財政難など、自治体を取り巻く状況は非常に厳しい。まさに冬の時代だ。

▼季節の「春」は黙っていてもやってくるが、こちらの「春」は自己変革なしには来そうにない新入生、新社会人の姿がまぶしい春。待ちに待った春の素晴らしい春に感謝しながら、新たな気持ちでがんばりたい。（H）